

決 算 公 告

第 21 期（2020 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日まで）
貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書及び個別注記表

2021 年 3 月 29 日
札幌市中央区南一条東一丁目 3 番地
株式会社イー・カムトゥルー
代表取締役 上田正巳

貸借対照表

(2020年12月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	218,103	流動負債	100,610
現金及び預金	166,073	買掛金	23,355
売掛金	32,378	1年内返済予定の長期借入金	41,244
仕掛品	2,356	1年内返済予定のリース債務	992
商品	1,940	未払金	14,375
前払費用	4,568	未払費用	10,355
未収入金	5,679	前受収益	4,304
立替金	4,579	未払法人税等	1,276
その他	2,573	仮受金	2,000
貸倒引当金	△2,046	預り金	2,706
固定資産	262,621	固定負債	351,864
有形固定資産	7,472	社債	100,000
建物附属設備	4,902	長期借入金	250,929
工具器具備品	871	リース債務	837
リース資産	1,698	繰延税金負債	97
無形固定資産	216,756	負債合計	452,475
ソフトウェア	81,938	(純資産の部)	
ソフトウェア仮勘定	134,770	株主資本	28,025
電話加入権	46	資本金	165,940
投資その他の資産	38,392	資本剰余金	80,240
投資有価証券	9,738	資本準備金	80,240
関係会社株式	3,574	利益剰余金	△218,154
出資金	20	その他利益剰余金	△218,154
長期貸付金	17,190	繰越利益剰余金	△218,154
長期前払費用	3,028	評価・換算差額等	
敷金及び保証金	4,791	その他有価証券評価差額	223
入会金	50	純資産合計	28,249
破産更生債権等	115	負債純資産合計	480,724
貸倒引当金	△115		
資産合計	480,724		

(注)記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

損益計算書

〔 2020年1月1日から
同年12月31日まで 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		307,736
売 上 原 価		200,674
売 上 総 利 益		107,062
販売費及び一般管理費		138,058
営 業 損 失		△30,996
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	1	
受 取 家 賃	60	
手 数 料 収 入	1,927	
そ の 他	500	2,489
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	5,701	
雑 損 失	11	5,712
経 常 損 失		△34,219
特 別 損 失		
減 損 損 失	6,150	
有 価 証 券 評 価 損	86	6,236
税 引 前 当 期 純 損 失		
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	290	290
当 期 純 損 失		△40,746

(注)記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

〔 2020年1月1日から
同年12月31日まで 〕

(単位：千円)

	株 主 資 本					株 主 資 本 合 計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金 合 計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
2020年1月1日 期 首 残 高	165,940	80,240	80,240	△177,408	△177,408	68,771
当事業年度中の変動額						
剰余金の配当						
当期純損失				△40,746	△40,746	△40,746
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額(純額)						
当事業年度中の変動額合計	—	—	—	△40,746	△40,746	△40,746
2020年12月31日 期 末 残 高	165,940	80,240	80,240	△218,154	△218,154	28,025

個別注記表

1. 重要な会計方針に係わる事項

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・子会社株式及び関連会社株式
・・・・・・・・・・移動平均法による原価法を採用しております。
- ・その他有価証券
時価のないもの・・・・・・・・・・移動平均法による原価法を採用しております。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・仕掛品・・・・・・・・・・最終仕入原価法を採用しております。

(3) 固定資産の減価償却の方法

- ・有形固定資産・・・・・・・・・・法人税法の規定に基づく定率法又は旧定率法を採用しております。
ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については法人税法の規定に基づく旧定額法、2007年4月1日以後に取得した建物(附属設備を除く)については、定額法を採用しております。
- ・無形固定資産・・・・・・・・・・定額法を採用しております。
なお、自社利用に用いるソフトウェアについては、社内における見込み利用期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

(4) 引当金の計上基準

- ・貸倒引当金・・・・・・・・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(5) 消費税等の会計処理

- ・・・・・・・・・・消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式を採用しております。

2. 貸借対照表に関する注記

- | | |
|------------------------|-----------|
| (1) 有形固定資産の減価償却累計額 | 11,490 千円 |
| | |
| (2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務 | |
| ・長期貸付金 | 17,000 千円 |

3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引

貸付取引による利息の受取り

雑収入

303 千円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の総数に関する事項

株式の種類	前事業年度末の株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末の株式数
普通株式	722,600 株	一株	一株	722,600 株

5. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産の主な発生原因は、税務上の繰延欠損金、貸倒引当金、減価償却超過額等であり、繰延税金資産と同額の評価性引当額を控除しております。

6. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

① 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については余裕資金をもって行い、安全性の高い金融資産で運用しております。また、資金調達については銀行等の金融機関からの借入及び新株発行による方針であります。また、デリバティブ取引に関しては行わない方針であります。

② 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である売掛金は顧客の信用リスクに晒されております。営業債務である買掛金等は、そのほとんどが3ヶ月以内の支払期日であります。借入金は、主に開発投資及び設備投資に必要な資金の調達を目的としたものであり、償還日は決算日後、最長で10年となっております。

投資有価証券は主に投資信託及び純投資目的の未上場の株式であります。投資信託は市場価格の変動リスクに晒されております。また、未上場の株式については、投資先の信用リスクに晒されております。さらに未上場の株式は市場価格がなく、売却時期が未定であり、将来のキャッシュ・フローを見積もることができないため、時価を把握することが極めて困難であります。しかし、投資段階において事前審査を行うとともに、投資先の信用リスク、財務状況等を継続的にモニタリングしており、定期的に投資先の財務状況等を把握しております。

また、投資先の決算期ごとに投資先の実情を勘案の上、評価基準に基づき評価を行い、必要に応じて償却処理を行っております。

敷金及び保証金は、本社事務所の賃貸借契約に伴うものであり、差入先の信用リスクに晒されておりますが、賃貸借契約締結に際し、差入先の信用状況を把握しております。

③ 金融商品に係るリスク管理体制

i) 信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

営業債権である売掛金については、経常的にリスクが発生しておりますが、取引先担当者が売掛金管理手続等に従い、取引先ごとに期日及び残高を管理するとともに、主要取引先の信用状況をモニタリングし、財務状況等の悪化等による回収懸念の早期把握等により、その軽減を図っております。

ii) 市場リスク（金利等の変動リスク）の管理

借入金等につきましては、各金融機関の借入金利の一覧表を作成し、金利状況をモニタリングしております。営業債務及び借入金は、資金計画表を作成する等の方法により資金管理を致しております。

iii) 資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

買掛金及び未払金については月次単位での支払予定を把握するとともに、手元流動資産の維持等により流動性リスクを管理しております。

④ 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2020年12月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	166,073	166,073	—
(2) 売掛金	32,378		
貸倒引当金(※)	△1,828		
	30,549	30,549	—
(3) 投資有価証券			
其他有価証券	4,725	4,725	
資産計	201,348	201,348	—
(1) 買掛金	23,355	23,355	—
(2) 未払金	14,375	14,375	—
(3) 未払法人税等	1,276	1,276	—
(4) 社債	100,000	100,013	13
(5) 長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)	292,173	274,631	△17,541
負債計	431,181	413,652	△17,528

(※) 売掛金に対する貸倒引当金を控除しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

資産

(1) 現金及び預金、(2) 売掛金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

負債

(1) 買掛金、(2) 未払金、(3) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(4) 社債、(5) 長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)

これらの時価については、元利金の合計額を、新規に同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

区 分	貸借対照表計上額
その他有価証券（非上場株式）	5,013
敷金及び保証金	4,791
出資金	20

これらについては、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから時価開示の対象としておりません。

(注3) 金融債権の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	166,041	—	—	—
売掛金	30,549	—	—	—
合計	196,591	—	—	—

(注4) 長期借入金及びその他有利子負債の決算日後の返済予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
社債	—	100,000	—	—
長期借入金	41,244	168,905	82,024	—
合計	41,244	268,905	82,024	—

7. 関連当事者との取引に関する注記

種類	会社等の名称 又は氏名	議決権等の 所有割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末 残高
役員	上田正巳	(被保有) 間接27.0%	当社の銀行借入に対する債務被保証	銀行借入に対する被保証 (注)	234,173	—	—
			リース取引に関する被保証	リース取引に対する被保証 (注)	2,215	—	—

(注) 1. 当社は、銀行借入及びリース取引に対して当社代表取締役上田正巳より債務保証を受けておりますが、保証料等の支払いは行っておりません。なお、保証債務の取引金額は当事業年度末時点の保証残高であります。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

独立第三者間取引と同様の一般的な取引条件で行っております。

8. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	39円09銭
(2) 1株当たり当期純損失金額	△56円39銭

9. 重要な後発事象

該当事項はありません。